

第42回 小島三郎記念文化賞

西山 幸廣 博士 — 推薦の辞 —

なが い よし ゆき
永 井 美 之
Yoshiyuki NAGAI

この度、西山幸廣博士の「ヘルペスウイルスに関する基盤研究とその応用」を小島三郎記念文化賞受賞候補として推薦させていただきましたところ、受賞決定のお知らせを受けて大変喜んでおります。

西山先生、ご受賞誠にありがとうございます。ご臨席の奥様はじめご家族の皆様、また、研究室の同僚の皆様のお喜びもひとしおであろうと思います。皆様に、心よりお祝い申し上げます。

推薦者として西山博士の業績を簡単に紹介させていただきます。

西山博士は、昭和48年名古屋大学医学部をご卒業になりまして大学院に進まれ、昭和52年に博士号を取得、そして名古屋大学医学部附属無菌動物研究施設第二部門という研究室の助手に採用されました。

その後、アメリカに留学され、そこでヘルペスウイルスの研究を開始されました。その後は、一貫し

てヘルペスウイルスに関する研究をやってこられまして、帰国後、昭和57年8月に無菌動物研究施設が再編されました病態制御研究施設ウイルス感染部門の助教授、平成6年9月には同部門教授に昇任され、現在に至っております。なお、同部門は、その後、大学院重点化に伴いウイルス学講座に改組されました。

今回の受賞に係る業績の内容は大きく3つに分けられるものと思います。

1. 単純ヘルペスウイルス遺伝子産物の機能解析

1つ目は、名古屋大学のウイルス学の教授に就任された以降のもので、現在でも続いているものですが、単純ヘルペスウイルスの遺伝子産物の機能解析があげられます。単純ヘルペスウイルスHSVは、例えば私が扱っております10種に満たない程



小島三郎記念文化賞贈呈式会場風景

度の遺伝子しか持たないセンダイウイルスや HIV などとは異なりまして、80種近い遺伝子を有していて、研究開始当時は全く手の付けられない未知遺伝子が多数存在しておりました。

西山先生のグループは、この10年ほどの間に精力的にそうした未知遺伝子の機能同定作業を進め、その多くの基本的性状を明らかにされました。

特筆すべきは、US3、UL14、UL34、UL51、UL56等に関するもので、アポトーシス抑制作用、分子シャペロン機能、粒子の成熟と細胞内移送に関わる機能などを明らかにされました。この他にも多数の遺伝子機能を決定されました。

研究成果は、単純ヘルペスウイルスの増殖、病原性発現の分子的基盤を理解する上で必須のものとして、国際的にも高く評価されております。

このように、西山先生は膨大な数のヘルペスウイルスの遺伝子を網羅的に解析してこられました。最近では「ジェノミックス」とか「プロテオミックス」とか遺伝子や蛋白質を網羅的に解析するという言葉をしばしば耳にしますが、そういう言葉のない時代から、西山先生は、この複雑なウイルスのジェノミックスを徹底的にやってこられたということがあります。

2. 実験動物による病原性研究

2つ目の業績は、実験動物による病原性研究でございまして、次々と特定されました遺伝子を遺伝子工学的に欠損させた変異ウイルスや、あるいは突然変異で得られたさまざまな変異株を用いてヘルペスウイルスの主要な兆候のひとつである神経病原性、中枢神経系侵襲性、そういったものに関するウイルスの遺伝子の貢献とか役割といったものを明らかにされると同時にアクセサリー遺伝子が病原性という観点から4つのグループに大別されるということを示されました。

3. 応用研究、臨床研究

そして3つ目は、応用研究、臨床研究に関するものでございます。西山先生は、非常に広い視野を持ち、ヘルペスウイルスの基礎研究ばかりでなく、抗ウイルス剤の開発、診断法の開発等にも関わってきております。

特に最近話題になっておりますのが、ヘルペスウイルスを用いた癌に対する治療法の開発であります。現時点ではまだ評価は難しいでしょうけれども、実際にこれが癌の治療薬という薬になれば大変な快挙であるというべきであります。本邦ではじめて臨床試験に持ち込んでおられます。そして来年には米国で本格的な臨床試験が始まるそうですから、今後の展開を大いに期待したいと思います。

以上、ざっと紹介させていただきましたが、このように西山博士は、ヘルペスウイルスの基礎研究から応用研究まで非常に着実に成果をあげてこられたわけでございます。

これらの業績は、伝統ある小島三郎記念文化賞に誠に相応しいと考えて推薦させていただきました次第でございます。

西山博士は、来月12月18日～21日まで、名古屋で開催される日本ウイルス学会学術集会の会長をお務めになるなど、すでにわが国のウイルス学のリーダーの一人になっておられます。

今後、研究の上で益々発展されると同時に、学界のリーダーとして若手の育成や社会的な貢献を行うなど多方面にわたって活躍されることを大いに期待しております。

以上、ご挨拶に代えさせていただきます。西山先生どうもおめでとうございます。

(平成18年10月20日収録)